

高等学校 令和 8 年度（ 1 学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教 科： 情報 科 目： 情報 I 単位数： 2 単 位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1 組～ 7 組：佐藤万治）

使用教科書：（ 最新情報 I ／実教出版 ）

教科 情報 の目標： 問題の発見・解決に向けての情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知 識 及 び 技 能】科目「情報 I」と同様

【思考力、判断力、表現力等】科目「情報 I」と同様

【学びに向かう力、人間性等】科目「情報 I」と同様

科目 情報 I の目標： 問題の発見・解決に向けての情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術の問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技術を身につけているとともに、情報化の進展する社会の特質およびそのような社会と人間の関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○オリエンテーション・PC準備 など 【知識及び技能】 授業のルール説明（ID管理など） 【思考力、判断力、表現力等】 ルールの必要性について考える 【学びに向かう力、人間性等】	・PC室端末について ・アカウントの説明 ○プリント配布	【知識・技能】 授業のルールに適合したPC等の運用ができた 【思考・判断・表現】 ルールの必要性を理解し学習に取んだ 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にPCを活用できた	○	○	○	4
	第1章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報化が進展する社会の特質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じるについて問題意識を持つ 【学びに向かう力、人間性等】 SNSを利用したコミュニケーションの注意点について考え、自らの生活に反映させる。	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 情報化が進展する社会の特質について理解した 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じるについて問題意識を持った 【学びに向かう力、人間性等】 SNSを利用したコミュニケーションの注意点について考え、自らの生活に反映させた	○	○	○	8
	第4章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの意味を理解する 変数を使用したプログラミングの作成ができる 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できる 関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートの表記に興味関心を示している 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができる 定期考査	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの意味を理解した 変数を使用したプログラミングの作成ができた 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できた 関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できた 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートの表記に興味関心を示した 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができた	○	○	○	8
				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2・3 学期	第2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など、基本的な方法を理解している プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価、改善など、プレゼンテーションの流れについて理解している 実際にプレゼンテーションのためのスライドなどの資料をコンピュータで作成することができる 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、情報を可視化したり配色を変えて表現をしたりすることができる 情報伝達やコミュニケーションを促進するために、情報デザインの工夫について、個人やグループで検討することができる プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライドの作成やリハーサルをに組み、フィードバックを行いながら、よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備を進める	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（P C教室）使用	【知識及び技能】 情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など、基本的な方法を理解した プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価、改善など、プレゼンテーションの流れについて理解した 実際にプレゼンテーションのためのスライドなどの資料をコンピュータで作成することができた 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、情報を可視化したり配色を変えて表現をしたりすることができた 情報伝達やコミュニケーションを促進するために、情報デザインの工夫について、個人やグループで検討することができた プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができた 【学びに向かう力、人間性等】 説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライドの作成やリハーサルをに組み、フィードバックを行いながら、よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備を進めた	○	○	○	24
3 学期	第1章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 表計算ソフトを用いて関数を使用した基本操作ができる 表計算ソフトを用いてデータの並べ替え、抽出ができる情報化が進展する社会の特質について理解する グラフの種類や機能を理解し、表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集する力がある 問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のため、表計算ソフトを用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持っている。また	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（P C教室）使用	【知識及び技能】 表計算ソフトを用いて関数を使用した基本操作ができた 表計算ソフトを用いてデータの並べ替え、抽出ができる情報化が進展する社会の特質について理解した グラフの種類や機能を理解し、表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができた 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集する力をつけた 問題解決の目的や条件にしたがって、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができた 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のため、表計算ソフトを用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持った。また、データ分析を粘り強く行うことができた	○	○	○	25
							合計
							70